

目指せ草レースの鬼!

ピンビー製作日記

F-ROAD SUPER-BEETLE PROJECT

燃料タンク内のサビ落としで翌日は筋肉痛間違いなし!!

諸々の事情により、予定していたボロ用インパネの移植作業は延期。今月は燃料タンク内のサビ落としとフェンダー取り付けが主な作業。初レース参戦まで残り1ヵ月ちょい、ピンビーは完成するのでしょうか?

文●半谷範一 撮影●森口信之

取材協力●ベストインポートサービス TEL:048-282-6119 <http://www.vw-bis.co.jp>

スピードジャパン TEL:03-3555-8865 <http://www.speedjapan.co.jp/>

日栄自動車商会 TEL:024-534-9680 <http://auto.jocar.jp/nichiei/>



スピードジャパンの小澤です
部品のご用命は当社HPまで

錦糸町の不動産王です
カメラマンです
でも働かされてます

今月は超働きました!
少しだけ休んだらおやつ食べます

腰痛になった半谷です
フェンダー取り付けします

腰痛半谷さんの分まで
よく働くらうです

01 ビーディングはターコイズブルーにしてみました

ビートルのフェンダーはボルトで固定されているために簡単に脱着することができます。そしてボディとの隙間には樹脂製のビーディングが挟み込まれています。現在純正パーツとして新品が供給されているビーディングはブラックのみ。新車が販売されていた頃にはボディカラーに合わせて様々な色が設定されていたのですが、残念ながら現在では社外品しか入手することができません。しかし、今回は贅沢にもBISにストックされていたデッドストックの純正パーツを使用することにした。沢山の色の中からQ編集長が選んだのは、なんとターコイズブルーのビーディング! でも実際に装着してみたら意外なほど似合っていて少しビックリ。1303用ではなかったものの、わずかな加工で流用できました。



おやつ担当大臣いっこの大活躍で
タンク内のサビもきれいに落ちました?

いきなりでなんですが、今月も地味な作業です。予告していた、ボロ用インパネの移植、作業を期待していらっしやった皆さん、ゴメンなさい。

今月のメインの作業は燃料タンク内部のサビ落としと、フェンダーの取り付けでした。

最近の乗用車は樹脂タンクが多いのでサビを気にする必要は少なくなってきましたが、この空冷VWの時代はまだ鉄製のタンクを採用しています。そのため、燃料タンクの内側に結露などによってサビが発生しているクルマが大半です。そのまま放置すると、剥がれたサビが燃料フィルターを詰まらせてしまったり、燃料ポンプ、キャブレターなどに回ってエンジン不調の原因になることがあるため、この機会に少しでも取り除いておこうということになりました。

最近では色々なケミカルが出ているものの、我々が選択したのは小石やボルト、ナットなどを入れて振る! という一番原始的な方法でした(笑)。

フェンダーの装着に関しては、間にビーディングを挟んでボルトで止めるだけ。空冷ビートルのフェンダーは脱着が簡単なので、事故などで修理するときも簡単に助かります。

現在、メーカーから純正パーツとして入手できるビーディングはブラックのみで、色着きビーディングは社外品しか手に入りません。しかし今回は、BISでストックしていた貴重な純正色着きのビーディングを使わせていただくことにしました。

さて、来月はいよいよインパネの装着かな? それともフロントサスペンションの装着かな?

02 タンク内に小石やボルトやナットを入れてシェイクシェイク!



燃料タンク内のサビ取りには様々なケミカルが発売されています。しかし、古いタンクに使用するには何となく抵抗がありますし、評判の高いものはそれなりの値段もします。そこで私達が行なったのは昔ながらの方法でした。やり方は簡単、その辺に落ちている小石やボルト、ナットを詰めて、水を入れてシェイクするだけ! これならコストも0円です。しかし、この方法には大きな弱点がありました。水や小石の入った重いタンクを二人で揺すらなくちゃならないので、めちゃめちゃ疲れるのです。というわけで、腰痛(仮病じゃないよ)の私は高みの見物。皆さんに交替でやっていただくことにしました。おまけにこの1303のタンクはトーションバーの1200系とは異なり内側にバフが入っているため、一度中に入れた物が中々出てきません。結局、それを取り出すのに、サビ取り作業よりも長い時間がかかってしまいました。

あーあ誰も遊んでくれないよ...



ほれほれちゃんと振りなさい
腰じゃなくってタンクを振りなさい



腰痛なのでボクは見てるだけ

メッチャ重いんですけど筋肉痛になること必至だ

マジ重いんですけど...カメラマンなんスけど...

最後のひとつ取れました



03 暗すぎるヘッドライトにサヨナラしたら明るい未来が待っている



空冷ビートル用の純正のヘッドライト、最近のクルマに慣れた人にはかなり暗く感じられることでしょう。まあノーマルのエンジンだったらそれでも十分なのでしょうが、2007ccのチューニングエンジンを搭載しているビンビーの性能を考えるとかなり不安です。そこで、BISのストックの中にあっただんなライトを取り付けてみることにしました。すりガラスみたいなノーマルよりは絶対明るいはず。これでも不満を感じるようなら、将来的にはH.I.D.化も検討しましょう。



変なところに穴開けるなよ
ご養美のおやつ欲しいだろ



次回は...

責任者マモル

錦糸町の不動産王

古Q

腰痛半谷

SJ小澤社長

BIS山崎社長

04 いらっこ初体験!? 電動工具の話です

キャブの調整用にエンジンコンパートメント横に開けた穴、そのままでは走行中に石などが飛び込んでしまうので、とりあえずバンチングボードで作ったカバーを取り付けてみることにしました。多少水分は入るかも知れませんが、エンジンコンパートメント内の換気にも効果があるんじゃないかな? 作業ではいらっこが電動工具に初挑戦。今月は私が腰痛で役立たずだった分、いらっこが頑張りました。



久々に皆で集合写真。撮影してくれた森口さんは卒業写真の欠席者扱いで合成です。今回は懸案となっているフロントサスか? インパネの組み付けか? 現時点ではまだ未定です。